

点 P と線分 QR がぶつかるとき、 P の y 座標は $\frac{\sqrt{3}}{2} \leq y \leq 1$ であり、点 P と線分 QR の x 座標が一致する。

すなわち、 $\frac{\pi}{3} + 2n\pi \leq t \leq \frac{2}{3}\pi + 2n\pi (n=0, 1, 2, \dots)$ かつ $\cos t = 1 - vt$ となる時刻 t が存在する。

$v = \frac{1 - \cos t}{t}$ として、 $f(t) = \frac{1 - \cos t}{t}$ の $\frac{\pi}{3} + 2n\pi \leq t \leq \frac{2}{3}\pi + 2n\pi$ における増減を考える。

$$f'(t) = \frac{t \sin t + \cos t - 1}{t^2} \quad \text{さらに } g(t) = t \sin t + \cos t - 1 \text{ とすると } g'(t) = \sin t + t \cos t - \sin t = t \cos t$$

$g(t)$ は $t = \frac{\pi}{2} + 2n\pi$ において極大となる。

$$g\left(\frac{\pi}{3} + 2n\pi\right) = \left(\frac{\pi}{3} + 2n\pi\right) \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{2} \geq \frac{\sqrt{3}}{6}\pi - \frac{1}{2} > 0 \quad g\left(\frac{2}{3}\pi + 2n\pi\right) = \left(\frac{2}{3}\pi + 2n\pi\right) \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{3}{2} \geq \frac{\sqrt{3}}{3}\pi - \frac{3}{2} > 0$$

したがって、 $\frac{\pi}{3} + 2n\pi \leq t \leq \frac{2}{3}\pi + 2n\pi$ において、 $g(t) > 0$ 、 $f'(t) > 0$ であるから、 $f(t)$ は単調増加。

(1)

$$f\left(\frac{\pi}{3}\right) = \frac{1}{2} \div \frac{\pi}{3} = \frac{3}{2\pi}, \quad f\left(\frac{2}{3}\pi\right) = \frac{3}{2} \div \frac{2}{3}\pi = \frac{9}{4\pi}$$

したがって、 $0 \leq t \leq 2\pi$ において点 P と線分 QR がぶつからない条件は $\therefore 0 < v < \frac{3}{2\pi}, \frac{9}{4\pi} < v \dots\dots$ (答)

(2)

$$f\left(\frac{\pi}{3} + 2n\pi\right) = \frac{1}{2} \div \left(\frac{\pi}{3} + 2n\pi\right) = \frac{3}{2(6n+1)\pi}, \quad f\left(\frac{2}{3}\pi + 2n\pi\right) = \frac{3}{2} \div \left(\frac{2}{3}\pi + 2n\pi\right) = \frac{9}{4(3n+1)\pi}$$

$\frac{3}{2(6n+1)\pi} \leq v \leq \frac{9}{4(3n+1)\pi}$ のとき、 $\frac{\pi}{3} + 2n\pi \leq t \leq \frac{2}{3}\pi + 2n\pi$ において、点 P と線分 QR は 1 回ぶつかる。

今、領域 $D_n = \left\{ v \mid \alpha_n \leq v \leq \beta_n, \alpha_n = \frac{3}{2(6n+1)\pi}, \beta_n = \frac{9}{4(3n+1)\pi} \right\} (n=0, 1, 2, \dots)$ を定義する。

$$\beta_{n+1} - \alpha_n = \frac{9}{4(3n+4)\pi} - \frac{3}{2(6n+1)\pi} = \frac{3(12n-7)}{4\pi(3n+4)(6n+1)}$$

これより、 $\beta_1 < \alpha_0$ であるから、 D_0 は他の領域と共通範囲を持たない。

$n \geq 1$ のとき、 $\beta_{n+1} > \alpha_n$ であるから、 D_n と D_{n+1} は共通範囲 $\alpha_n \leq v \leq \beta_{n+1}$ を持つ。

$$\beta_{n+2} - \alpha_n = \frac{9}{4(3n+7)\pi} - \frac{3}{2(6n+1)\pi} = \frac{3(12n-11)}{4\pi(3n+7)(6n+1)}$$

これより、 $n \geq 1$ のとき、 $\beta_{n+2} > \alpha_n$ である。

$n \geq 2$ のとき、 D_n は D_{n-1} と共通範囲 $\alpha_{n-1} \leq v \leq \beta_n$ を持ち、 D_{n+1} と共通範囲 $\alpha_n \leq v \leq \beta_{n+1}$ を持つ。

$\beta_{n+1} > \alpha_{n-1}$ であるから、 $n \geq 2$ のとき、 D_n は必ず他の領域との共通範囲を持つ。

v がただ一つの領域に属することが条件であるから、そのような v が属するのは、 D_0, D_1 に限られる。

求める範囲は $\beta_2 < v \leq \beta_1, \alpha_0 \leq v \leq \beta_0 \therefore \frac{9}{28\pi} < v \leq \frac{9}{16\pi}, \frac{3}{2\pi} \leq v \leq \frac{9}{4\pi} \dots\dots$ (答)